

パーマナント コース紹介

高千穂コース

おわび
前号のコース紹介で一部原稿が抜けおちて
いましたので、ここに再掲いたします

大高竜亮

天の岩戸、天孫降臨、夜神楽。神話が今でも息づいている宮崎県高千穂。魅力的なのは神話だけではない。渓谷の美しさ、山なみの深さ。パーマナントコースはそんな高千穂の魅力を一層引き出してくれる。

高千穂コース

宮崎県 No. 4 JOA 公認 No. 349
8 km 10 ポスト

宮崎県北端、熊本県と大分県に接する高千穂町。天孫降臨の伝説が残るところとして県内では有数の観光地となっています。高千穂パーマナントコースは天照大神の孫にあたる瓊瓊杵命（ににぎのみこと）とその重臣が地上界に降り立たとされる峰々に囲まれた一帯を巡ります。私にとって初めての宮崎県のコースへの挑戦です。

スタート地点は高千穂鉄道の終点「高千穂」駅から徒歩10分の「高千穂町中央公民館」です。

一昨年に使用可否を問い合わせた際、わざわざ公民館の方がコースを歩いて確認してくださり、その時の記録が事務所にファイルされています。ちなみにこの時は1箇所欠損があるものの、他は大丈夫という情報を頂きました。

外に立っている案内板の中のマスターは判読できません。マップ、マスターとも事務所で入手して下さい。1度コース変更がなされたようで、ポストは比較的きれいな状態を保っています。欠損しているのは第8ポストですが、ここは道路拡張が行われています。再設置の意思はないようで、現在は実質9ポストで運営されています。

スタート地点は地図上の印よりやや北側にあります。第1ポストへの道は、道路に出るとすぐそばです。明るいのかな道をややのぼり気味に歩いていくと、茶畑を見下ろす見晴しのよい場所で早速第1ポストを発見。全ポストの中でここだけは赤色が薄れてきています。

第2ポストはこのコースの最高地点で最難関。東の山に分け入ります。ところが、地図では通じている小道が今ではすっかり消失。杉林のため支障はありませんが、見上げるばかりの勾配

には顎があがります。山に差し掛かったところでたまたま出くわした地元の方に、「道はなくなってしまっているが、尾根に出たら古い道が残っている」と告げられました。やっとの思いで尾根に辿り着いたのも束の間、更に急峻な登り坂が山頂まで続きます。愛宕山を登り終わると、地蔵の横にポストが立っています。

ここからは遍路道。安心して下っていくことができます。山を降りるとこれ以後はのんびりしたコースです。第3ポストは拡張された道路との分岐の右上方に置かれています。

第4ポストは近くには新道が完成しているため、戸惑うかもしれません。従来の小道を見出し、小さな尾根に上がると出会えます。

第5ポストは山裾を周回する道路を歩きます。民家前のT字路がポスト位置です。犬が苦手な人には早々に立ち去りたくなるでしょう。

第6ポストは浅ヶ部八十八ヶ所霊場めぐりの「仁田野茶屋」横。特に何もありませんが、オリエンティアもここで一休みしたいところです。

民家に沿って右手に入り、下った先、

道が鋭角に曲がる地点に第7ポストがあります。

第8ポストはやはりありません。広々とした道路が完成しており、納得して第9ポストへ向かいます。道路から地図には記載のない道に入ると、墓地が右手に続きます。ポストはその先で右手に顔を覗かせています。

ここから第10ポストまでは地図と印象が違いため戸惑います。地図上の分岐を見付け、南に入るとすぐのところ地下に高千穂駅を確認できればポストはすぐそばです。この時期でも草に隠れ気味ですので、夏場は特に注意して探してください。高千穂小学校の歓声を聞きながら街中に戻ると、ゴールはすぐそこです。

高千穂ではパーマナントコース踏破だけではなく、柱状節理の断崖と真名井の滝が印象的な高千穂峡や高千穂神社神楽殿で毎夜開催される夜神楽見物など、時間に余裕をもって訪れたいスポットがたくさんあります。日本建国のルーツを探る旅となるでしょう。

(2003年3月14日踏破)

